

令和7年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【日進北小学校】

⑥	次年度への課題と学力向上策
知識・技能	
思考・判断・表現	

次年度に向けて
(3月)

①	今年度の課題と学力向上策	
	学習上・指導上の課題	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	<学習上の課題> 語句の使い方や計算の技能など、基礎・基本の定着が必要な場面も見られ、更なる習熟が必要。 <指導上の課題> ドリルパークやミニテストを活用し、多様な形式の課題を通して、知識・技能の更なる定着を図る。	⇒ 漢字ドリルや計算ドリル、ドリルパークなど、多様な形式の課題に取り組ませる。 【毎週木曜の朝学習や授業の最初の5分に実施】 語句の使い方や計算の技能を習得させる場面での指導を充実させ、基礎・基本を定着させる。【各教科の授業内に実施】 自己評価シートの方策として、基礎・基本の定着についての内容を入れ、どの教職員にも意識させる。【通年】
思考・判断・表現	<学習上の課題> 分かったことや調べたことをもとに、他者と協働したり自分なりの考えを示したりすることが難しい。 <指導上の課題> 「じ・し・ゃ・く」を生かしつつ、自ら課題を立て、課題解決に向けて自ら学ぶ学習過程の定着を図る。	⇒ 文章からの読み取りだけでなく、図やグラフ、動画などから必要な情報を読み取ることができるように指導する。【各教科の時間内に実施】 児童自ら設定した問いを解決するために、適した資料を選択して調べたり、自分なりの考えを示したりする学習活動を設定する。【各学期内に1度以上実施】 一人一授業以上の授業公開により、指導技術の共有化、協働的な学びの充実をはかる。【通年】

<小6・中3> (4月～5月)

⑤	評価(※)	調査結果 学力向上策の実施状況
知識・技能		①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等
思考・判断・表現		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能	調査の振り返り(4月) ①児童生徒による振り返り ②調査問題の解説 ③振り返りの終了報告	
思考・判断・表現	結果提供(7月)	

調査結果分析(7～8月)
 ①結果分析(管理職・学年主任等)
 ②詳細分析(学年・教科担当)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能		
思考・判断・表現		

③	評価(※)	中間期報告 学力向上策の実施状況	中間期見直し 学力向上策【実施時期・頻度】
	知識・技能		
思考・判断・表現		中間評価(9月) 目標・策の見直し	

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)